



## N コマンド

この章では、N で始まる Cisco Nexus 1010 コマンドについて説明します。

### network-uplink type

Cisco Nexus 1010 のアップリンク タイプを変更するには、**network-uplink type** コマンドを使用します。設定を削除して、アップリンク タイプをデフォルトに設定するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**network-uplink type {1 | 2 | 3 | 4}**

**no network-uplink type**

#### シンタックスの説明

1	ポート 1 とポート 2 が管理 VLAN、制御 VLAN、およびデータ VLAN のすべてを伝送します。
2	ポート 1 とポート 2 が管理 VLAN とコントロール VLAN を伝送し、ポート 3 からポート 6 がデータ VLAN を伝送します。
3	ポート 1 とポート 2 が管理 VLAN を伝送し、ポート 3 からポート 6 がコントロール VLAN とデータ VLAN を伝送します。
4	ポート 1 とポート 2 が管理 VLAN を伝送し、ポート 3 とポート 4 がコントロール VLAN を伝送し、ポート 5 とポート 6 がデータ VLAN を伝送します。

#### デフォルト

なし

#### コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション (config)

#### サポートされるユーザの役割

network-admin

#### コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

---

**例**

次に、ポート 1 とポート 2 が管理 VLAN、コントロール VLAN、およびデータ VLAN のすべてを伝送するようにネットワークのアップリンク タイプを設定する例を示します。

```
n1010# configure terminal
n1010(config)# network-uplink type 1
n1010(config)#
```

次に、設定を削除して、ネットワークのアップリンク タイプをデフォルトに設定する例を示します。

```
n1010# configure terminal
n1010(config)# no network-uplink type 1
n1010(config)#
```

---

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>show network-uplink type</b>	アップリンクの設定を表示します。

---

# ntp enable

Network Time Protocol (NTP; ネットワーク タイム プロトコル) をイネーブルにするには、**ntp enable** コマンドを使用します。NTP をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**ntp enable**

**no ntp enable**

**シンタックスの説明** このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

**デフォルト** イネーブル

**コマンド モード** グローバル コンフィギュレーション (config)

**サポートされるユーザの役割** network-admin

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

**例** 次に、NTP をイネーブルにする例を示します。

```
switch# ntp enable
```

次に、NTP をディセーブルにする例を示します。

```
switch# no ntp enable
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show ntp peers</b>	すべての NTP ピアを表示します。
	<b>show ntp peer-status</b>	すべての NTP サーバおよびピアのステータスを表示します。
	<b>ntp server</b>	NTP サーバを設定します。
	<b>ntp source</b>	NTP ソースを設定します。

# ntp peer

Network Time Protocol (NTP; ネットワーク タイム プロトコル) ピアを設定するには、**ntp peer** コマンドを使用します。ピアを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
ntp peer host [prefer] [use-vrf vrf]
```

```
no ntp peer host [prefer] [use-vrf vrf]
```

## シンタックスの説明

<b>host</b>	NTP ピアのホスト名または IP アドレスです。
<b>prefer</b>	(任意) このピアを優先ピアとして指定します。
<b>use-vrf vrf</b>	(任意) このピアへの到達に使用される Virtual Routing and Forwarding (VRF; 仮想ルーティング/転送) を指定します。

## デフォルト

なし

## コマンド モード

グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザの役割

network-admin

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、NTP ピアを設定する例を示します。

```
switch(config)# ntp peer 192.0.2.2
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show ntp peers</b>	すべての NTP ピアを表示します。
<b>show ntp peer-status</b>	すべての NTP サーバおよびピアのステータスを表示します。
<b>ntp enable</b>	NTP をイネーブルにします。
<b>ntp server</b>	NTP サーバを設定します。
<b>ntp source</b>	NTP ソースを設定します。

# ntp server

Network Time Protocol (NTP; ネットワーク タイム プロトコル) サーバを設定するには、**ntp server** コマンドを使用します。サーバを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
ntp server host [prefer] [use-vrf vrf]
```

```
no ntp server host [prefer] [use-vrf vrf]
```

## シンタックスの説明

<i>host</i>	NTP サーバのホスト名または IP アドレスです。
<b>prefer</b>	(任意) このサーバを優先サーバとして指定します。
<b>use-vrf vrf</b>	(任意) このピアへの到達に使用される Virtual Routing and Forwarding (VRF; 仮想ルーティング/転送) を指定します。

## デフォルト

なし

## コマンドモード

グローバル コンフィギュレーション (config)

## サポートされるユーザの役割

network-admin

## コマンドの履歴

リリース	変更内容
4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

## 例

次に、NTP サーバを設定する例を示します。

```
switch(config)# ntp server 192.0.2.2
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>show ntp peers</b>	すべての NTP ピアを表示します。
<b>show ntp peer-status</b>	すべての NTP サーバおよびピアのステータスを表示します。
<b>ntp enable</b>	NTP をイネーブルにします。
<b>ntp source</b>	NTP ソースを設定します。

# ntp source

Network Time Protocol (NTP; ネットワーク タイム プロトコル) ソースを設定するには、**ntp source** コマンドを使用します。NTP ソースを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**ntp source** *addr*

**no ntp source** *addr*

シンタックスの説明	<i>addr</i>	ソースの IPv4 または IPv6 アドレスです。IPv4 アドレスの形式はドット付き 10 進表記 (x.x.x.x) です。IPv6 アドレスの形式は 16 進表記 (A:B::C:D) です。
-----------	-------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------

デフォルト	なし
-------	----

コマンド モード	グローバル コンフィギュレーション (config)
----------	----------------------------

サポートされるユーザの役割	network-admin
---------------	---------------

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

**例** 次に、NTP ソースを設定する例を示します。

```
switch(config)# ntp source 192.0.2.3
```

次に、NTP ソースを削除する例を示します。

```
switch(config)# no ntp source 192.0.2.3
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>show ntp peers</b>	すべての NTP ピアを表示します。
	<b>show ntp peer-status</b>	すべての NTP サーバおよびピアのステータスを表示します。
	<b>ntp enable</b>	NTP をイネーブルにします。
	<b>ntp server</b>	NTP サーバを設定します。

# numcpu

仮想サービスの仮想 CPU を設定するには、**numcpu** コマンドを使用します。

**numcpu** *cpu-number*

<b>シンタックスの説明</b>	<i>cpu-number</i> CPU の数を指定します。指定できる範囲は 1 ~ 10 です。
------------------	----------------------------------------------------

<b>デフォルト</b>	なし
--------------	----

<b>コマンドモード</b>	仮想サービス ブレード コンフィギュレーション (config-vsbs-config)
----------------	----------------------------------------------

<b>サポートされるユーザの役割</b>	network-admin
----------------------	---------------

コマンドの履歴	リリース	変更内容
	4.0(4)SP1(1)	このコマンドが追加されました。

**例** 次に、5 つの仮想 CPU を VSM-1 に割り当てる例を示します。

```
n1010# conf t
n1010(config)# virtual-service-blade VSM-1
n1010(config-vsbs-config)# numcpu 5
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>virtual-service-blade</b>	指定した仮想サービスを作成して、そのサービスのコンフィギュレーションモードに切り替えます。
	<b>ramsize</b>	仮想サービスの RAM に割り当てたメモリを変更します。
	<b>description</b>	仮想サービスに説明を追加します。
	<b>show virtual-service-blade</b>	仮想サービス ブレードに関する情報を表示します。

